記者発表資料

令和８年２月１９日
東北土木技術人材育成協議会

令和７年度 東北土木技術人材育成協議会　開催

～官民連携の若手技術者育成の取り組み～

■「東北土木技術人材育成協議会」は、主に若手技術者を育成することを目的として、官民連携のもと平成２９年３月に設立されました。

■本協議会を構成する官民の１８機関が共同の「基礎技術講習会」を実施し、**今年度も千名を超える若手技術者が受講**しました。

■来年度も講習会の更なる充実を図り、将来を担う若手技術者の知識と技術力の養成を行ってまいります。

・講習会は、土木や i-Construction に関する施工・監督・検査など幅広い知識と、新たな技術に関する基礎技術の習得を目指したカリキュラムとなっています。

・官民の技術者の技術力向上を目的に、講習会を東北6県でも開催しており、引き続き、「地域の守り手」の育成・確保に向け、全市町村の受講者拡大を図ります。

・協議会では、今年度実施した各種講習会の開催状況や受講者へのアンケート結果を報告し、今後益々求められる人材を育成するため、次年度の活動方針を決定します。

記

1. 日時 ： 令和8年2月25日（水） 15:00～ （概ね1時間程度）
2. 場所 ： 東北地方整備局　12階　大会議室
   住所　宮城県仙台市青葉区本町３－３－１　仙台合同庁舎B棟
3. 議題 ： 今年度の活動報告、次年度の活動方針（案）
4. 取材 ： 会議は全て公開ですが、撮影は会議のうち、冒頭の挨拶のみ（議事開始前まで）とさせていただきます。
   取材をされる方は、2月24日（火）12時までに下記へご連絡ください。

〔　発表記者会 ： 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会　〕

問　い　合　わ　せ　先

東北土木技術人材育成協議会事務局

国土交通省　東北地方整備局
東北技術事務所　総括技術情報管理官　松芳（まつよし）　健一（けんいち）

TEL　022－365－8211（内線301）

（参考）

■ “東北土木技術人材育成協議会”とは

良質な社会資本の形成に資するため、社会資本整備に関連する構成機関が相互に連携・協力し、持続的に担い手を育成することを目的として、平成29年3月に東北地方整備局、建設、測量・コンサルタント、建設機械業界の6団体による「東北土木技術人材育成協議会」を発足しました。

その後、地方公共団体などを含め、現在は18団体までに組織が拡充されています。

＜ 参加団体 ＞

国土交通省東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、(一社)日本建設業連合会東北支部、(一社)東北建設業協会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、(一社)東北測量設計協会、(一社)日本建設機械施工協会東北支部、(一社)東北地質調査業協会、(一社)日本道路建設業協会東北支部、(一社)東北建設マネジメント技術協会、(一社)東北地域づくり協会、(一社)OCF東北部会

＜ 設立趣旨＞

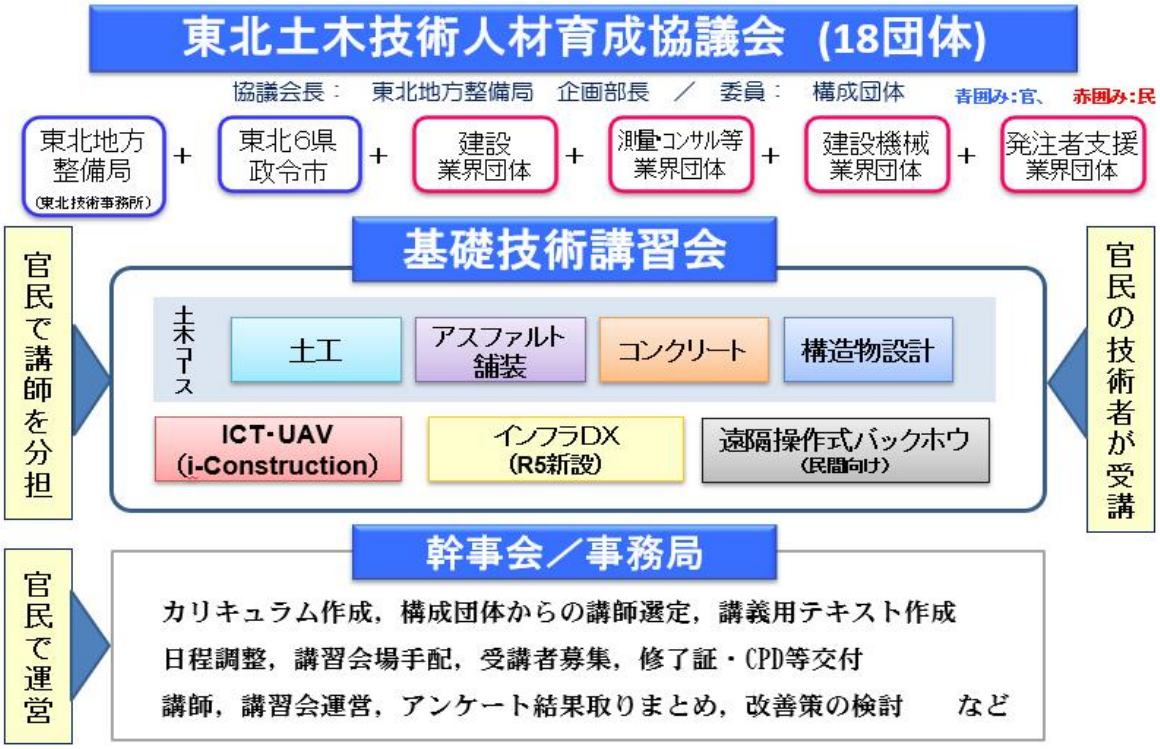
◇社会資本は生活や経済活動を行う上で重要な役割を担い、長期にわたり利用されるため、高品質・高耐久とすることが求められる。

◇良好な社会資本の整備・維持管理のための専門分野は多岐にわたるため、施工・監督・検査などには幅広い知識が必要。

◇さらに「i-Constrution」 をはじめとする新たな技術に関する多様な知識も求められる。

◇将来を担う若手技術者に対しては、早い段階で知識と技術力の養成に資する講習を行う必要がある。

◇各団体が協力・連携をすることで、より総合的な知識と技術力の教授が可能となる。



■ 令和7年度 基礎技術講習会 開催状況






土木実習:土工の品質管理　　ICT・UAV実習:ICT建設機械操作　　インフラDX実習:3次元CAD・点群演習　　遠隔操作バックホウ:実技操作

◇土木コース　　受講者数340名（官159名、民181名）
◇ICT・UAV　　受講者数381名（官163名、民218名）
◇インフラDX　　受講者数261名（官138名、民123名）
◇遠隔操作式バックホウ　　受講者数24名（民24名）